

○ 草の根協力支援型

2015年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ケニア共和国
2. 事業名	ケニア国エンブ郡マニヤッタ市における環境教育人材育成事業
3. 事業の背景と必要性	エンブ郡は首都ナイロビから北東約120kmに位置する中規模都市である。人口は516,212人（2009年現在）であり、2017年には591,412人までの増加（14.6%増）が見込まれている。中～北部の農村部はケニア山山麓にかかる農業好適地であり、人口の83%程度が農業により生計を立てているが、市街地では近年、農業以外の商業で生計を立てる生活者が農村部より流入し、急速な人口増加傾向にある。エンブ郡政府では、現在、収集車5台による廃棄物収集作業を行っているが、市全体が丘陵地帯であり、住居が密集している地区では収集車のルートが制限され、収集作業が主要路のみに限られる。結果、市街地で未回収、あるいは不法投棄される廃棄物が発生する一因となっている。廃棄物が放置された結果、腐敗した生活廃棄物からの悪臭、汚水の流出、また病原媒介生物（ハエや蚊、ネズミ等）の生息促進、景観の悪化といった問題が顕在化してきている。2013年のエンブ郡の疾病傾向をみると、全外来患者のうち21%が、下痢、コレラ、腸チフス、マラリアと、発生に衛生要因が関わることが否めない疾病となっている。
4. プロジェクト目標	環境教育人材（Community Environment Worker, CEW）が地域に育成される。
5. 対象地域	エンブ郡マニヤッタ市シャウリ地区／エンブ市場、ブルーバレー地区、マジエンゴ地区、ダラス地区1及び2、マジンボ地区
6. 本事業の対象となる人々（ターゲットグループ）	エンブ郡マニヤッタ市行政官（10名）、マニヤッタ市内地域コミュニティーリーダー（60名）、市街地住民
7. 事業活動	<p>（成果）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 環境教育の知識を持った人材（CEW）育成のための研修が行われる。 2. 環境教育用教材が作成される。 3. CEWによる地域での環境啓発活動が行われる。 <p>（活動）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1-1. 研修内容制定の指標として、対象地域における住民意識、また市民団体活動状況等のベースライン調査を実施する。 1-2. 関係行政機関職員向け研修を実施する。 1-3. 行政職員とCEW候補者の基準策定を行い、選定を行う。 1-4. 研修準備を行う（講師との打ち合わせ、研修教材作成等）。 1-5. CEW候補者に対し、研修を実施する（知識習得度調査含む）。 2-1. 教材内容制定の指標として、対象地域における住民意識のベースライン調査を実施する。 2-2. CEWによる啓発活動のための環境教材を作成する。 3-1. CEW活動用資材を作成する（キャップ、啓発カレンダー等）。 3-2. エリア毎にスタートアップミーティングを実施する。 3-3. CEWが地域に向けた環境啓発活動を実施する。 3-4. CEWによる活動の定期報告書確認、経費精算と、指導を行う。 3-5. CEWによる活動の最終報告会（コンテスト）を開催する。 3-6. 啓発活動評価のため、終了時調査を実施する。
8. 実施期間	（西暦2016年5月9日～2017年5月8日（1年0カ月））
9. 事業費概算額	9,971千円
10. 事業の実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ● 相手国協力機関：エンブ郡政府廃棄物対策委員会 ● 当団体の人員配置・連絡体制：事業担当責任者1名、会計担当1名、広報担当1名、現地事業担当1名、現地業務調整1名を配置し、一貫した管理・統括体制をとる。
II. 提案団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人アフリカ児童教育基金の会
2. 活動内容	エンブ郡における廃棄物の収集と管理に関する委員会